

模擬入管（国際難民法）

～九州で国際の狭間に置かれる人々に寄り添う～

2020年度の参加者を全学部から募集します。



【模擬入管とは？】実際の入国管理をモデルにした架空の題材をもとに、学生が入管センターに収容されている人々を演じて他の参加者と面談を行うことで、入管問題の現実に向き合う本学独自の体験シミュレーションです。本取組では、現場の雰囲気を体験シミュレーションに適切に反映させるために、学生自らが長崎県大村市に所在する入国管理センターを訪問します。被収容者に「寄り添う」心構えを真摯に学ぶ過程を通じて、移民・難民保護に関する国際法の知識を実践的に獲得できます。



【参加学生の感想】大村入国管理センターへの訪問では、私たちが質問を投げかけたあとに、「どうすれば誰も死なずに済みますか？」と被収容者の方から逆に問われました。私たち日本人が作った制度の陰で、命を落としていく人がいる現実と真正面から対峙したことに、ひどく動揺してしまいました。そのときの男性の表情や心からの訴えを私はこれからも忘れることができないでしょう。

(2019年度 法学部 国際関係法学科4年 荒田雅子)

2020年度 活動スケジュール



6-8月 事前勉強

大村入管センターで実際に面会活動がされている竹内正宣先生にご指導をいただきながら、慎重に準備を進めていきます。



9-10月 入管訪問

国際の狭間に置かれた人々の声を現場ですくい上げるために、大村入管センターに足を運び、被収容者と面談します。



11-12月 成果報告

勉強成果を地域社会に還元するために、訪問体験を踏まえた入管シミュレーションを作成して高校生と一緒に学習します。

※ 2019年度の活動報告書はHP (<https://www.seinan-kardianoia.com/>) からダウンロードできます。

※ 2020年度の活動スケジュールは新型コロナウイルスの影響に応じて変更する可能性があります。

参加を希望する方は下記連絡先に5月8日（金）までにご連絡ください。

連絡先 法学部国際関係法学科 根岸陽太 ynegishi@seinan-gu.ac.jp